

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町内小中学校（指定校・協力校）

【取組内容●】 ⑤外部講師によるジュニアICTリーダーの育成



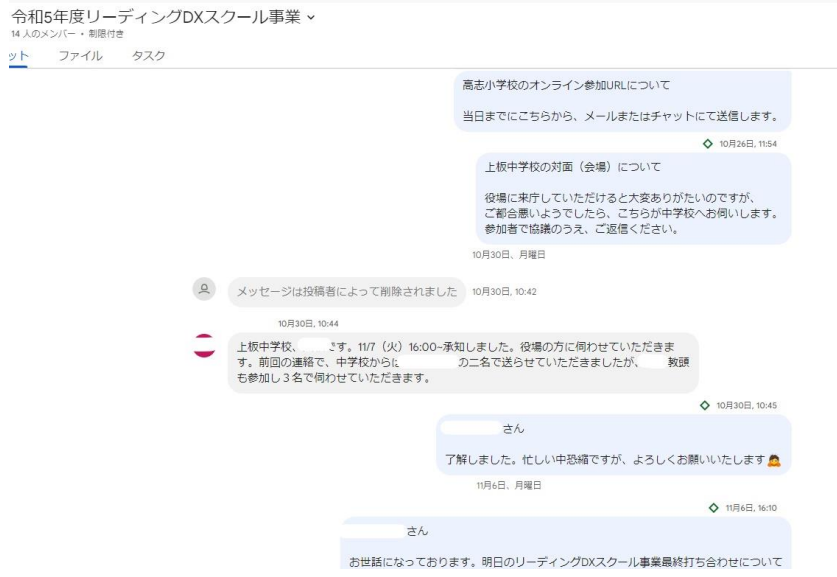
Google for Educationの外部講師をお招きし、ジュニアICTリーダー研修を行いました。一定のスキルを身につけた生徒は各学校のICTを牽引する担い手となり、さらなる発展を上板町と目指していきます。

上板町ジュニアICTリーダーに任命された生徒とは教育委員会の担当者と連絡がとれるようチャットルームを開設しました。生徒達が自分で考える力を身につけ、他者と共有する力をつけるため、日常でのICT環境で思ったことやアイデアを伝える場として活用していきます。

【取組内容●】 ④本事業の打ち合わせ会議をクラウド環境を利用することで効率化

本事業に係る会議の打ち合わせや情報共有等はクラウド環境（チャット）を活用。時間や場所にとらわれないコミュニケーションを実現し、円滑な運営が行えます。

クラウド環境を利用し、やりとりをデジタル化することで、事務作業の効率化を図ることができ、ペーパーレス化も行えます。



紙の資料や書類の作成・管理・保管は、教職員にとって大きな負担となっています。クラウド環境を活用することで、業務の効率化や負担軽減が見込めます。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立高志小学校 上板町立上板中学校

【取組内容●】 ①外部講師から学んだ事をスライド等のツールやクラウド環境を使用し、テーマに沿って協働学習

最終発表会に向けた資料作成をスライド等のツール等を使いながら作成、グループワークを行うことで「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実に取り組みます。



一人一人の生徒が自分の考えを発信し、他者の意見も尊重する。異なる意見が組み合わさり、よりよい内容を追求します。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立高志小学校 上板町立上板中学校

【取組内容●】 ①協働学習でまとめた内容をグループ選抜し発表。発表を行わない生徒及び教員はチャットを使って感想・意見交換



発表会ではチャットスペースを作成し、発表するグループの感想や意見をリアルタイムで投稿し共有します。予備端末に余裕があれば外部からの観覧者（徳島県内教育関係者限定）にも端末を貸与し、生徒・教員と共に意見共有をする予定です。